

タクロリムス軟膏(フロトピック軟膏)について

- ・タクロリムス軟膏は、アトピー性皮膚炎で使われる塗り薬で、ステロイド外用薬と同様に皮膚の炎症を抑える働きがあります。
- ・ステロイド外用薬とは違い、長期連用しても皮膚が薄くなる(皮膚委縮や毛細血管拡張)などの副作用はほとんどありません。
- ・また、正常な皮膚からはほとんど吸収されません。

***皮膚に強い炎症がある場合は、まずステロイド外用薬で炎症を軽減させて、その後にタクロリムス軟膏を使います。**

●使用方法

- ・1日1～2回、医師から指示された量を患部に塗布します。
- ・使用量の目安は、チューブから軟膏を出した時の長さ1cmが0.1gに相当し、この量で10×10cmの面積を塗布することができます。
- ・1回の使用量は、5gまでとなります。
- ・スキンケアは、洗顔→洗身→タクロリムス軟膏→保湿の順で行ってください。

●おこいやすい副作用

- ・塗りはじめに刺激感を伴うことがあります。刺激感は、塗った直後に生じる一時的なほてりやヒリヒリ感・かゆみなどですが、皮膚の症状が良くなるにつれ、通常、1週間くらいでおさまります。なお、刺激感が入浴時に強くなる場合があります。

●使用上の注意点

※次の場所には塗らないでください。

- ・皮膚がジュクジュクしている部分(傷のある部分)
- ・にきびやおできを含むバイ菌やウイルス、カビなどによる皮膚感染症の発症部位
- ・皮膚以外の部分(口や鼻の中の粘膜など)や外陰部

※眼のまわりに塗る場合は、眼に入らないように気をつけてください。

※タクロリムス軟膏を塗っている部分には、日焼けランプの使用を避けてください。

また、塗った部位に強い日光が長時間当たることのないよう、帽子や衣服、日焼け止めなどでUV対策を行ってください。

※妊婦または妊娠している可能性のある方は使用しないでください。また、授乳中の使用は避けてください。

※軟膏の副作用として、ヘルペスがおこることがあります。皮膚の一部に痛み(ピリピリ)やかゆみなどを感じた場合は、使用を中止して、速やかに医師の診察を受けてください。

※2週間塗り続けても症状が良くならない場合は、医師にご相談ください。